



## 生体と電磁波

坂部 貢・羽根邦夫・宮田幹夫 著

丸善出版 2012年5月

A5版 184ページ ISBN978-4-621-06532-7

定価 4,725円(税込)

本書は電磁波についての科学的・技術的説明から始まり、電磁波による生体への影響についての医学的な基礎研究、電磁波障害の臨床例、さらには将来への提案、技術的な対策までを示す。電磁波は周波数が異なれば物理的なエネルギーや生体とのかかわり方が異なる。電磁波に曝露されたとき、細胞や組織、器官などのレベルではどのようなことが起こっているのか、最新の文献とともに詳述した日本初の医学・工学連携の専門書。

### 序文より

・・・・・・ 我々は、いわゆる「電気」の恩恵を受けながら日々の生活を送っている。しかし、この目には見えない相手、すなわち「電磁波」に対して深い知識を持っている国民は、物理学に造詣の深い一部の人々を除いて、ほとんど皆無であり、危険性を知らずに恩恵を受けていると言える。国民の健康を守る医療人といえども例外ではない。

丸善出版株式会社のご厚意により、CS 支援センター会員（個人・購読・賛助・団体）に限り、「生体と電磁波」を税込み・送料込み 4000 円で販売いたします。お申し込みはファクシミリで CS 支援センター事務局（FAX.045-222-0686）まで。